

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-208666

(43)Date of publication of application : 03.08.1999

(51)Int.Cl.

B65D 21/08

(21)Application number : 10-049943

(71)Applicant : USUI YOSHIO

(22)Date of filing : 27.01.1998

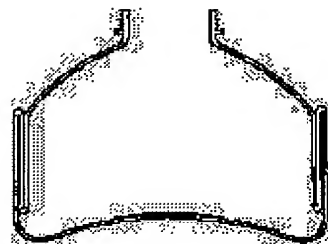
(72)Inventor : USUI YOSHIO

(54) FOLDING TYPE CONTAINER

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To manufacture a container, the volume of which can be reduced easily by crashing.

SOLUTION: A folding type container is of the constitution in which bodies of respective different outer diameters are provided on the upper and lower or on the left and right and a body of smaller outer diameter can be folded inside a body of larger outer diameter. The material quality can be a metal or plastic. The volume of the container can be reduced by folding the body of smaller outer diameter into the body of large outer diameter.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-208666

(43) 公開日 平成11年(1999) 8 月 3 日

(51) Int.Cl.⁸
B 6 5 D 21/08

識別記号

F I
B 6 5 D 21/08

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平10-49943

(22) 出願日 平成10年(1998) 1 月27 日

(71) 出願人 591247271

臼井 芳雄

東京都杉並区高円寺南 1 丁目14番15号

(72) 発明者 臼井 芳雄

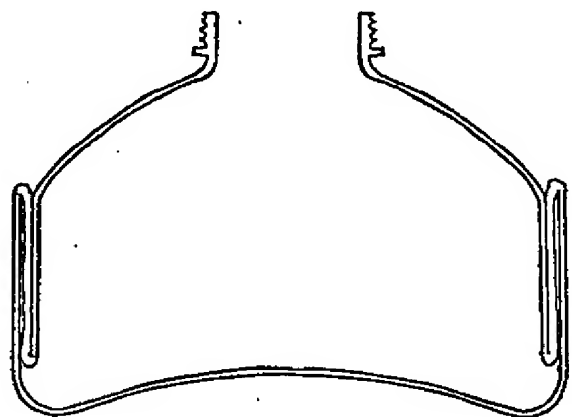
東京都杉並区高円寺南一丁目14番15号

(54) 【発明の名称】 たたみ込み式容器

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 圧潰により容易に体積を縮小できる容器を提供する。

【解決手段】 それぞれ外径の異なる胴を上下或いは左右に設け、外径の小さい胴が外径の大きな胴の内側にたたみ込まれることによって減容される。



(2)

【特許請求の範囲】

【請求項1】伸縮性ある容器

【発明の詳細な説明】

【産業上の利用分野】本発明は、液状物や固形物を内蔵するための容器に係り、特に液状内容物がなくなって廃棄される際に回収の便宜を図って体積縮小のために圧潰できるものに関する。

【従来の技術】たとえばPETボトルとして広汎に利用されているプラスチックボトルは、一般に使用後は廃棄されるが、廃棄のための費用がかさむ点で大きな問題となっている。すなわち、押し潰すことが簡単にできないため、プラスチックボトルは原形を留めたまま廃棄され、そのまま空気を内蔵した状態で処分場へ運ばれる。

【発明が解決しようとする課題】この結果、廃棄というときにコストを生じさせたくない状況でありながら、高い運搬コストを要する欠点がある。本発明は上述の点を考慮してなされたもので、圧潰により容易に体積を縮小できる容器を提供することを目的とする。

【課題解決のための手段】上記目的達成のため、本発明

では、それぞれ外径の異なる洞を上下或いは左右に設け、外径の小さい洞が外径の大きな洞の内側にたたみ込まれることによって減容されるたたみ込み容器、材質は、金属でもプラスチックでも良い、S字部は、水平もしくはそれ以上、望ましくは180度未満でも起こりうる発明を提供するものである。

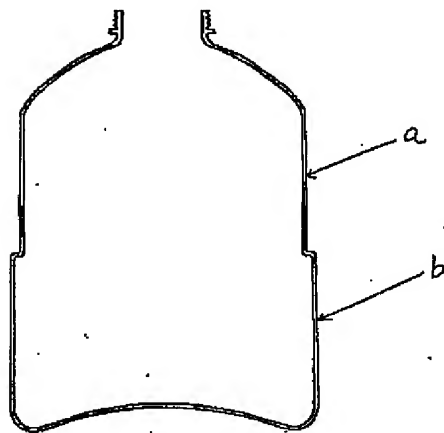
【発明の実施の形態】本発明の実施例を図面に寄り説明する。

【図面の簡単な説明】

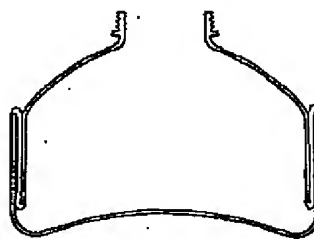
10 図1は、1段の畳み込み式容器の断面図で、aは径の小さい洞、bは径の大きい洞、図2は、図1が畳み込まれた断面図。図3は、5段の畳み込み式容器の見取図。図4、図5、図6、図7は、横方向に潰す容器。図8は、四角い容器の見取図。図9、図10は、金属缶の実施例。図11から図18までは、S字部の実施例。

【発明の効果】本発明は、上記のように容器に異なる外径の洞を隣り合わせることによって、圧縮により径の小さい洞が大きい洞の内側にたたみ込まれるので容易に廃棄寸法の最小化ができ好都合である。

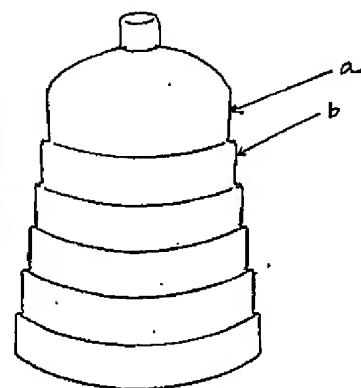
【図1】



【図2】



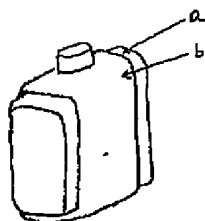
【図3】



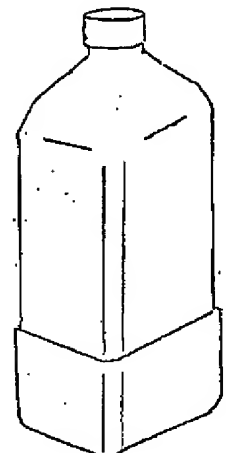
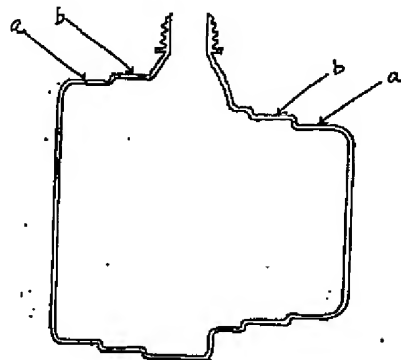
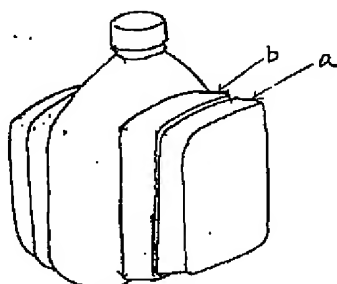
【図6】

【図8】

【図4】

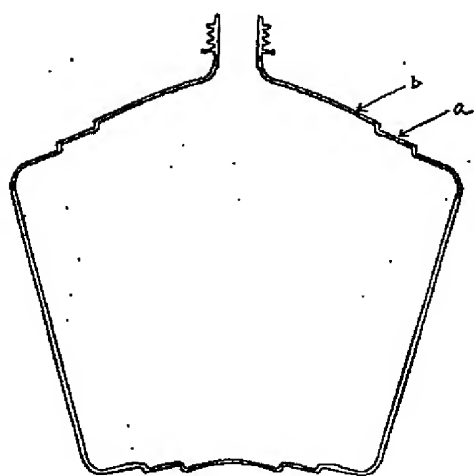


【図5】

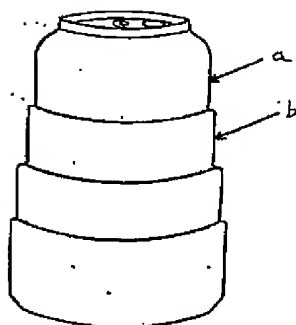


(3)

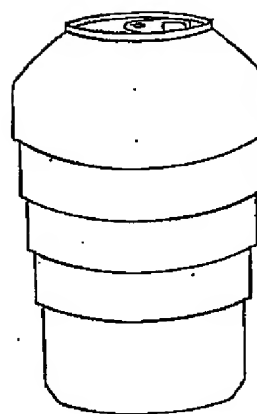
【図7】



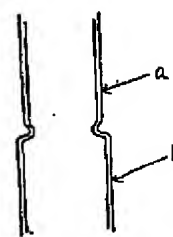
【図9】



【図10】



【図11】



【図15】

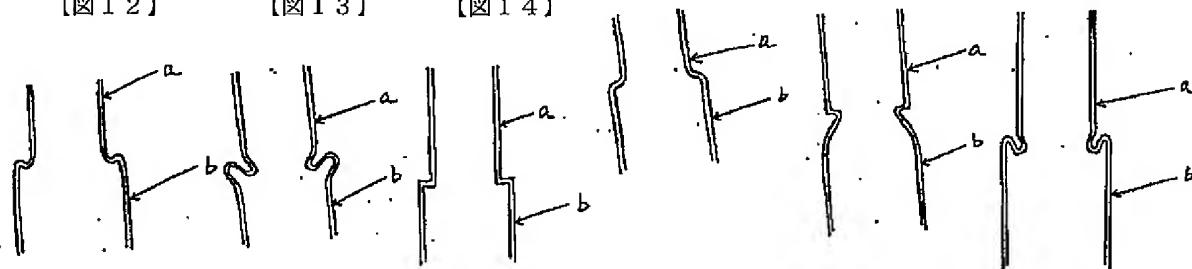
【図16】

【図17】

【図12】

【図13】

【図14】



【図18】

